

大阪湾で初となる Ship to Ship 方式による LNG 燃料供給を自動車運搬船に対して実施

2026 年 9 月 10 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長 CEO：藤原 正隆）は、本日、大阪湾で初^{※1}となる Ship to Ship 方式^{※2}による船舶 LNG 燃料供給（LNG バンカリング）を実施しました。

今回、当社は LNG バンカリング船^{※3}「SETO AZURE」（読み：セト アズール）を用いて、神戸港に入港した LNG 燃料自動車運搬船に対し LNG 燃料を供給しました^{※4}。今回の神戸港における実施は、大阪湾で初めてとなる Ship to Ship 方式の LNG 燃料供給であり、同湾における安定的な LNG 燃料供給および神戸港のカーボンニュートラルポート形成に寄与するものです。

近年、世界的な脱炭素化の流れや国際海事機関（IMO）の温室効果ガス削減目標を背景に、LNG を燃料とする船舶の導入が急速に進んでいます^{※5}。LNG 燃料は従来の重油燃料と比較して二酸化炭素の排出量を削減できるほか、将来的には e-メタンやバイオメタンへの転換によりさらなる低・脱炭素化が期待されています。一方で、国内における LNG 燃料船への供給インフラ整備は十分とは言えず、普及拡大に向けて安定的な燃料供給体制の構築が求められています。

当社は「SETO AZURE」による Ship to Ship 方式に加え、Truck to Ship 方式^{※6}、Shore to Ship 方式^{※7}による LNG 燃料供給も実施しており、主要 3 方式全てに対応可能な事業者として、お客さまの多様なニーズに応じた柔軟かつ安定的な LNG 燃料供給サービスを提供しています。

Daigas グループは、今後も船舶向けへの LNG 燃料供給の拡大を進めるとともに、2025 年 2 月に発表した「Daigas グループ エネルギートランジション 2050」に基づく e-メタンの社会実装を推進し、海運業界の低・脱炭素化の実現に貢献してまいります。

- ※1：2026 年 9 月大阪ガス調べ（日本において運航する LNG 燃料バンカリング船とその活動エリアを対象とした調査）
- ※2：岸壁に係留中もしくは錨地に停泊中の LNG 燃料船に対して、LNG バンカリング船が接舷して LNG を供給する方式。
- ※3：LNG を燃料とする船舶に対して LNG 燃料を供給する船舶のこと。
- ※4：シンガポールの船舶燃料取引会社である Integr8 Fuels 社を介し、海外船会社が運航する LNG 燃料自動車運搬船へ LNG 燃料供給を実施した。
- ※5：

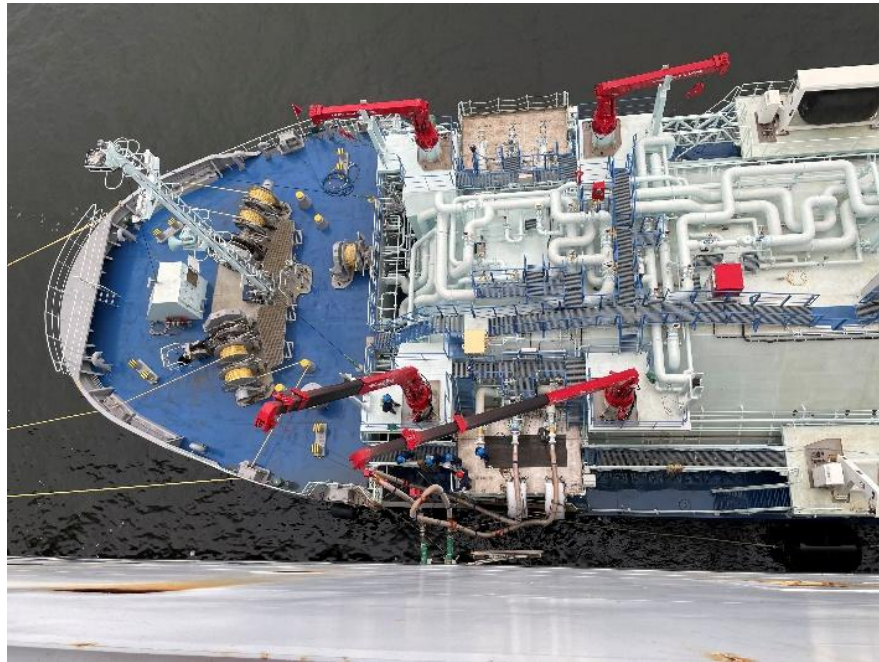
2015 年	2020 年	2025 年	2030 年
62 隻	185 隻	869 隻	1,271 隻

※LNG 運搬船を除く

（出典：DNV（ノルウェー海事協会）「Rising LNG demand: Overcoming bunkering challenges」
<https://www.dnv.com/expert-story/maritime-impact/rising-lng-demand-overcoming-bunkering-challenges/#:~:text=LNG%20marine%20fuel%20use%20surges,the%20end%20of%20the%20decade>）

- ※6：岸壁に係留中の LNG 燃料船に対して、岸壁に駐車した LNG タンクローリーから LNG を供給する方式。
- ※7：岸壁・栈橋に係留中の LNG 燃料船に対して、陸上 LNG ターミナルなどから LNG を供給する方式。

■LNG バンカリング船「SETO AZURE」による神戸港での LNG 燃料供給の様子



■LNG バンカリング船「SETO AZURE」



全長：86.29m

全幅：17.60m

総トン数：約 4,350 トン

LNG タンク方式：IMO 独立タンク TYPE C 方式

LNG タンク容量：約 3,610m³

推進方式：電気推進（LNG と重油のデュアルフューエルエンジン）

船主：大阪湾 LNG シッピング株式会社

造船所：下ノ江造船株式会社